

「中央銀行デジタル通貨に関する実証実験『パイロット実験』の進捗報告書」を公表

▼日本銀行は、「中央銀行デジタル通貨に関する実証実験『パイロット実験』の進捗報告書」（本冊、別冊）を六月に公表しました。

▼CBDCに関するパイロット実験は、日本銀行が構築した実験システムを用いて性能試験等を行う「実験用システムの構築と検証」と、日本銀行が事務局となり、民間事業者のご参加

のもと、CBDCエコシステム全体について実務的な議論を行う「CBDCフォーラム」の二本の柱から構成されています。

▼本報告書の本冊では、実験用システムのパートにおいて、これまでの検証を通じ、オンライン決済を前提とした場合には、CBDCの社会実装に関して致命的で解決できない技術的問題は見つかっていないことを示しました。また、フォーラムのパートでは、昨年度中の議論・検討の内容を紹介するとともに、幅広いテーマに関して双方向かつ解像度の高い議論を行うため、



中央銀行デジタル通貨に関する実証実験
「パイロット実験」の進捗報告書（2026年6月）

日本銀行決済機構局
2026年6月

七つのワーキンググループを三つのディスカッショングループに再編することを示しました。別冊では、読者の理解を深めるべく、

実験用システムのパートの詳細な説明や、フォーラムでのこれまでの議論の内容の総括を行っています。

▼日本銀行では引き続き、パイロット実験での多角的な検討と議論を続けていく方針です。報告書は、日本銀行ホームページをご覧ください。



「中央銀行デジタル通貨に関する連絡協議会（第二一回）」および「CBDCフォーラム 全体会合（第六回）」を開催

▼日本銀行は、「中央銀行デジタル通貨に関する連絡協議会」を五月に開催しました。同協議会は、中央銀行デジタル通貨に関する日本銀行の取り組みについて、民間事業者や政府との情報共有を図るとともに、今後の進め方を協議するものです。

▼一回目となる今回の協議会では、日本銀行から、「中央銀行デジタル通貨に関する実証実験

『パイロット実験』の進捗報告書」や、CBDCフォーラムの今後の運営方法、CBDCを巡る諸外国の動向などについて説明しました。続いて、財務省から、CBDCに関する関係府省庁・日本銀行連絡会議での検討状況についてご説明いただき、参加者の方々と意見交換を行いました。

▼また、本年六月に対面形式で開催した「CBDCフォーラム 全体会合（第六回）」では、連絡協議会と同様に「中央銀行デジタル通貨に関する実証実験『パイロット実験』の進捗報告書」や、CBDCフォーラムの今後の運営方法、CBDCを巡る諸外国の動向などについて説明したほか、進捗報告書の別冊の内容について技術的な論点を中心に紹介し、参加者の方々との意見交換を行いました。

▼各会合の議事概要や最新情報は、日本銀行ホームページをご覧ください。



編集後記

■ 令和8年熊本地震により犠牲になられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

■ 今号の「対談」では、東京藝大の日比野学長と増審議委員が、社会課題を解決する上でのアートの役割について語り合いました。東京藝大の前身である東京美術学校の校長を務めた岡倉天心は、横山大観や菱田春草らを育成し、晩年はボストン美術館に招かれ、西洋に日本文化の素晴らしさを伝えました。それから1世紀余を経て、東京藝大は、能や茶道から現代のメディアアートまで、文化や芸術が持つ力で私たちの世界を豊かにする取り組みを進めており、天心の思いが今日まで受け継がれているように感じます。

■ 「インタビュー」では、書家の紫舟さんにお話を伺いました。ご自身の中で特に印象に残っている作品として、東日本大震災後に、多くの人々の心をつにし、力を合わせていくことへの願いを込めて創作した「日本一心」を挙げられました。被災された方々に思いを寄せながら、今、私たち一人一人に何ができるのかを考えることが大切であると思います。（村國）

[アンケート募集中]

「にちぎん」に関するご意見・ご感想は、アンケートよりお寄せください。日本銀行のホームページからインターネットでもアンケートにご回答いただけます。



※本誌は、全国の日本銀行本支店および貨幣博物館、旧小樽支店金融資料館等でお配りしています。個人の方の定期購読、郵送はお取り扱いしておりませんのでご了承ください。なお、既刊号全文を日本銀行ホームページ上に掲載しています。
(https://www.boj.or.jp/about/koho_nichigin/index.htm)

※本誌に掲載している内容は、必ずしも日本銀行の見解を反映しているものではありません。日本銀行の政策・業務運営に関する公式見解等については、日本銀行ホームページ (<https://www.boj.or.jp>) をご覧ください。

にちぎん 2026年秋号
編集・発行人 村國 聡
発行 日本銀行情報サービス局
〒103-8660
東京都中央区日本橋本石町2-1-1
☎ 03-3277-1947

デザイン 株式会社市川事務所
印刷 サンバートナース株式会社
禁無断転載



金融研究所貨幣博物館
企画展「国芳『福』あつめ」
―故郷・日本橋で再発見―

▼日本橋（現・本石町）に生まれ、晩年も日本橋（現・人形町）で過ごしたとされる奇才・歌川国芳。その日本橋にある貨幣博

物館にて、かつてない視点の国芳展を十月三十日から開催します。

▼著名な「源頼光公館土蜘蛛妖怪図」や「流行猫の戯」シリーズから、これまであまり紹介されてこなかったお金や福にまつわるアイテムがちりばめられた役者絵や福神絵まで、貨幣博物館所蔵の国芳の浮世絵、約五〇点をご紹介します。

▼江戸経済の中心地・日本橋で、地元が生んだ絵師の筆致から、福に彩られた江戸の文化をご覧

ください。

【入館料】無料

【休館日】月曜日（ただし祝休日は開館）、年末年始（十二月二十九日～一月四日）

【開館時間】午前九時三十分～午後四時三十分（入館は午後四時まで）

※最新の情報は貨幣博物館ホームページをご覧ください。



【所在地】東京都中央区日本橋本石町一―三―